

---

# 東京都市計画第一種市街地再開発事業の決定

(千歳烏山駅前広場南側地区)

## 東京都市計画高度利用地区の変更

(千歳烏山駅前広場南側地区)

## 東京都市計画地区計画の変更

(千歳烏山駅周辺地区)

---

# 目次

---

## (1) 主旨・対象地区

## (2) 地区計画変更等(原案)説明会開催結果

## (3) 地区計画(原案)に対する縦覧・意見書について

### － 概要

#### － A 地区計画区域内の土地所有者等からの意見要旨

⇒ 「計画策定の経緯・計画の進め方」に対する区の見解

⇒ 「千歳烏山らしさ・街の魅力が失われることへの懸念」  
に対する区の見解

#### － B 地区計画区区域外にお住いの方からの意見要旨

⇒ 「高層マンション（約140m）の必要性・妥当性」

「景観・安全性・周辺環境への影響に関する不安」  
に対する区の見解

## (4) 地区計画（原案）からの変更点

## (5) 今後のスケジュール

---

## (1) 主旨・対象地区

---

主要な地域生活拠点にふさわしい活気とにぎわいを創出するため、市街地再開発事業の決定及び高度利用地区の変更に合わせて地区計画を変更することとします



---

## (2) 地区計画変更等(原案)説明会開催結果

---

## (1) 開催概要

対象範囲：千歳烏山駅周辺地域地区街づくり計画区域及び建物高さの2倍の範囲  
(対象：約13,000世帯)

開催日等：令和8年1月22日(木) 参加者94人(申し込み112名)  
令和8年1月25日(日) 参加者72人(申し込み78名)

開催場所：烏山区民会館ホール



## (2) 主な意見

### ①都市計画原案について

- ・ 高度利用地区に記載の「健全な土地利用」の「健全な」とは何か。
- ・ 「交通結節機能の強化」とはどういうことか。
- ・ 建築物等の整備の方針に「周辺環境に配慮することに努める」とあるが、「配慮に努める」とはどういう意味か。
- ・ 歩道状空地を設けることとなるが、現状の歩道の幅員はどう変化するのか。
- ・ 140mの制限をより低く再検討することは可能か。 など

### ②市街地再開発事業等について

- ・ 区の補助金を払うことに対して、義務になるのはいつ頃になるのか。
- ・ 駅前のデザインは街のシンボルであり、烏山のイメージであるため、おしゃれで気持ちの良い街にしてもらいたい。 など

### ③その他

- ・ バスロータリーの現在の位置は、検討段階から変更になったのではないかなど

# 地区計画変更等(原案)説明会開催結果

## (2) 主な意見

- ・ 容積率700%について教えてほしい。
- ・ 交通広場を作るが商店街を減らさないための「必要な容積(必要量)」が説明されていない。
- ・ 本計画は、建物高さ140mを前提としているように聞こえる。  
商業地区Bは、5階以上禁止など根本的な見直しを求める。
- ・ 低層部を5階にして高層部を下げる等の検討してはどうか。
- ・ 100年後、200年後を考えたときにタワマンは修繕もできず、老朽化し、駅前に廃墟ビルのイメージができるため、タワマンに反対。

など

---

## **(3) 地区計画変更（原案）に対する縦覧・意見書について**

---

# 地区計画変更（原案）に対する縦覧・意見書について

## ■ 概要

別紙【意見書の要旨】  
P.1

### （１）縦覧期間

令和8年1月22日～令和8年2月5日

### （２）意見書提出期間

令和8年1月22日～令和8年2月12日

### （３）意見書の提出

#### 216通（212名）

30通（29名） 地区計画区域内の土地所有者等

186通（183名） 〃 区域外にお住まいの方

### （４）意見書の内容

別紙「意見書の要旨」参照

# 地区計画変更（原案）に対する縦覧・意見書について

---

## ■概要（A地区計画区域内の土地所有者等からの主な意見）

- 計画策定の経緯・計画の進め方
- 千歳烏山らしさ・街の魅力が失われることへの懸念
- 景観・安全性・周辺環境への影響に関する不安
- 公共性・将来世代への責任に関する問題意識
- 高層マンション（約140m）の必要性・妥当性

など

# 地区計画変更（原案）に対する縦覧・意見書について

---

## ■概要（B地区計画区域外にお住まいの方からの主な意見）

- 高層マンション（約140m）の必要性・妥当性
- 景観・安全性・周辺環境への影響に関する不安
- 千歳烏山らしさ・街の魅力が失われることへの懸念
- 計画の進め方・意思決定プロセス
- 交通・学校等インフラへの不安
- 公共性・将来世代への責任に関する問題意識・持続可能性への疑問

など

## **A 地区計画区域内の土地所有者等からの意見要旨**

# 「計画策定の経緯・計画の進め方」について

別紙【意見書の要旨】  
P.1～P.5

## ○ 経緯について(※抜粋)

- ・京王線の高架化に伴う駅前再開発で千歳烏山駅の位置を決めた時から不満であり、当初から高層マンション計画の思惑があったと思う。**高架化及び駅前再開発と補助216号線の3つを合わせて計画していたはずだが、まとめて説明してこなかった責任は重いと感じる。**千歳烏山駅周辺には区が所有している区民センター等の土地があるにもかかわらず、それらを一切利用せず残すことを前提に計画し、住んでいる人を追い出して作るというのは疑問しかない。  
など

## ○ 進め方について(※抜粋)

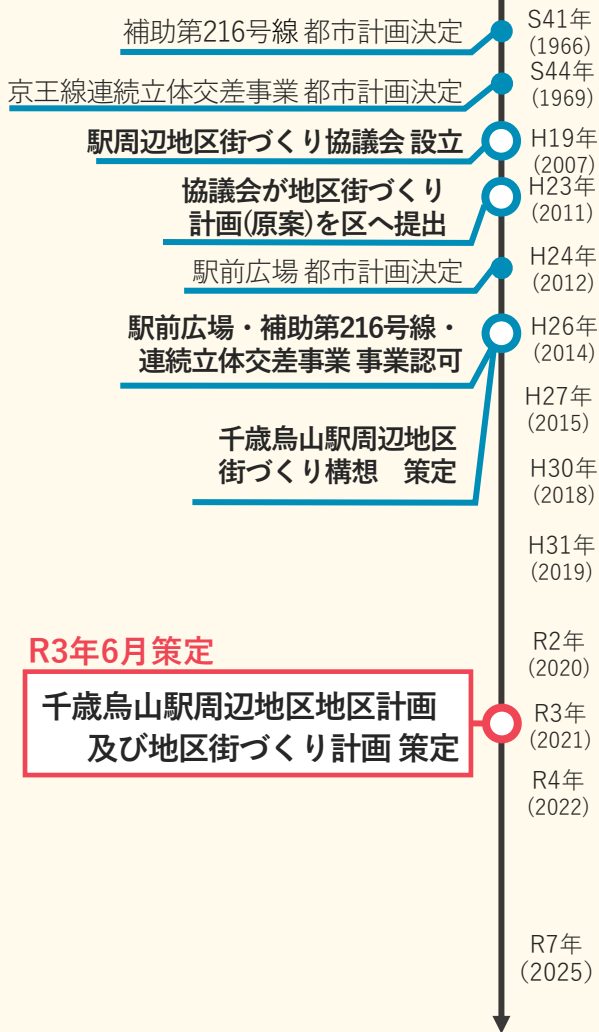
- ・防災施設、自転車の駐車場や公共施設の問題もあることから、第一種市街地再開発事業を見直し、**地権者のほかに地域住民、専門家、行政を交え町づくりの在り方を再検討して欲しい。**
- ・この計画は烏山の街を大きく変える。その大変さを、区はどのように考えているのか説明がない。**区は、民間の地権者による再開発事業であるため、下北沢のように住民と対話をしながら進めていけないという説明である。公共事業としての区の問題はないのか。**  
など

# **「計画策定の経緯・計画の進め方」に対する区の見解**

# 「計画策定の経緯・計画の進め方」に対する区の見解

## ■ これまでの対応について（経緯）

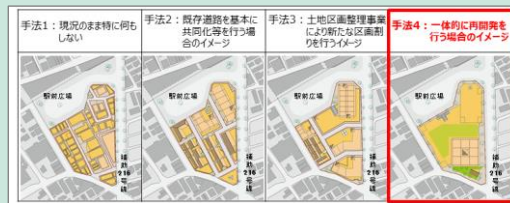
### 駅周辺における街づくり



### 駅前広場南側地区における検討

#### 権利者アンケート、ヒアリングの実施（平成26年）

- ・街づくり構想の検討
- ・南側地区における街づくりの手法等の検討
- ・権利者アンケート、ヒアリングの実施



アンケート、ヒアリングにて一番多く選択された手法として「一体的に再開発を行う」を選択

#### まちづくり勉強会（世話人会）設立（平成28年～）

- ・権利者が中心となり再開発事業の仕組みや特徴等について検討
- ・街の課題等を踏まえた街づくりの方向性を検討
- ・調布や府中の再開発事業事例視察、調査



駅前広場を含む再開発事業を活用したまちづくりの検討へ進めていく

#### まちづくり準備会設立（令和2年～）

- ・駅前広場を含む一体の区域で駅前拠点整備に向けたまちづくりの方向性を検討
- ・再開発事業を活用した千歳烏山駅前のまちづくり方針、整備の方向性、機能イメージなどを検討



#### 再開発準備組合設立（令和4年～）

- ・権利者主体の準備組合が円滑に活動できるように事業協力者を選定
- ・都市計画に向けた基本計画案の検討
- ・本組合設立に向けた検討



都市計画（準備組合案）の提出

# 「計画策定の経緯・計画の進め方」に対する区の見解

## ■ これまでの対応について（駅前広場南側地区の周知）

まちづくり準備会(令和2年(2020年)～)

年	月	内容
令和3年(2021年)	5月～	地区内に掲示板設置
	6月～	仮囲いに掲示板設置
令和4年(2022年)	8月～	区HPに基本的な考え方・かわら版を掲載
	8月	まちづくりイベント

再開発準備組合(令和4年(2022年)～)

年	月	内容
令和5年(2023年)	8月	まちづくりイベント（準備組合）
令和6年(2024年)	7月	オープンハウス
	8月	まちづくりイベント（準備組合）
令和7年(2025年)	1月	周辺住民報告会（準備組合との連携）
	2月	まちづくりフォーラム参加
	5月	事務所オープンイベント（準備組合）
	6月	周辺住民説明会（準備組合との連携）
	7月	オープンハウス
	8月	まちづくりイベント（準備組合）
	9月	都市計画素案説明会（世田谷区）
	11月	第1回 情報交換会（準備組合との連携）
12月	第2回 情報交換会（準備組合との連携）	
令和8年(2026年)	1月	都市計画原案説明会



【ちとからプラザの様子】



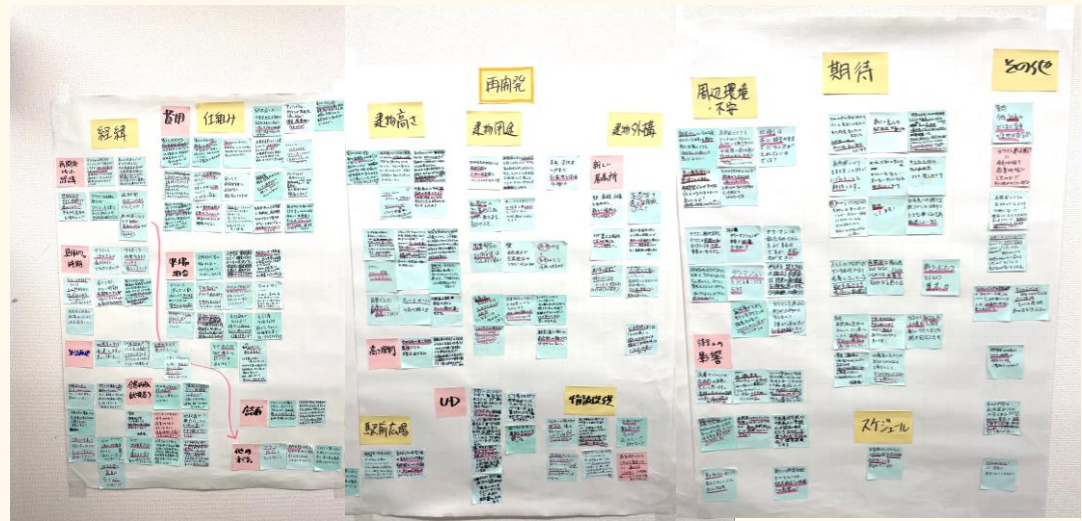
【オープンハウスの様子】

# 「計画策定の経緯・計画の進め方」に対する区の見解

## ■ これまでの対応について（街づくり情報交換会）



【情報交換会の様子】



【情報交換会で出た再開発に対するご意見】

## 対話の場

## 再開発の説明、理解を深める場

第1回:令和7年11月15日:79名参加

第2回:令和7年12月13日:77名参加

# 「計画策定の経緯・計画の進め方」に対する区の見解

## ■ これまでの対応について（ちとからまちづくりフォーラム）



まちづくりの情報共有・意見交換等を行う場



ソフト / ハード両面の拡がり  
公共空間の利活用(エリアマネジメント)

# 「計画策定の経緯・計画の進め方」に対する区の見解

## ■ これからの対応について

街づくり情報交換会の継続開催



再開発事業に関する情報共有・理解促進に取り組む

ちとからまちづくりフォーラム



「駅南北の交流と人々が集う魅力あふれるまち」の  
形成に向けて取り組む

# 千歳烏山らしさ・街の魅力が失われることへの懸念

別紙【意見書の要旨】  
P.7～P.9

## ○ 街の魅力について(※抜粋)

- ・ ごちゃごちゃして活気ある千歳烏山らしさが完全に失われる。
- ・ 千歳烏山の活性化は大賛成であるが、ありふれた街並みになるのは残念でつまらない。
- ・ 将来にわたり、「主要な地域生活拠点」にふさわしい複合市街地を実現するならば、住宅地として発展した街であること、駅周辺は近隣住民が気軽に立ち寄れる街で個性的な商店等が多く立地していることなど、千歳烏山のよさを活かすべきであり、あらゆる属性の地域住民に寄り添う懐の深い街のありようを第一に考慮すべきである。
- ・ 千歳烏山駅前の様々な課題が解決され、町の価値が向上することに対して大きな希望を持っている。 全体的な建物の老朽化に伴うもの、自転車問題など社会変化に行き届いていない点など、徐々に魅力が失われつつあると感じている。今回の都市計画変更により、防災性の向上や、歩行者が安心して回遊できる空間が意識されている点に特に魅力を感じている。

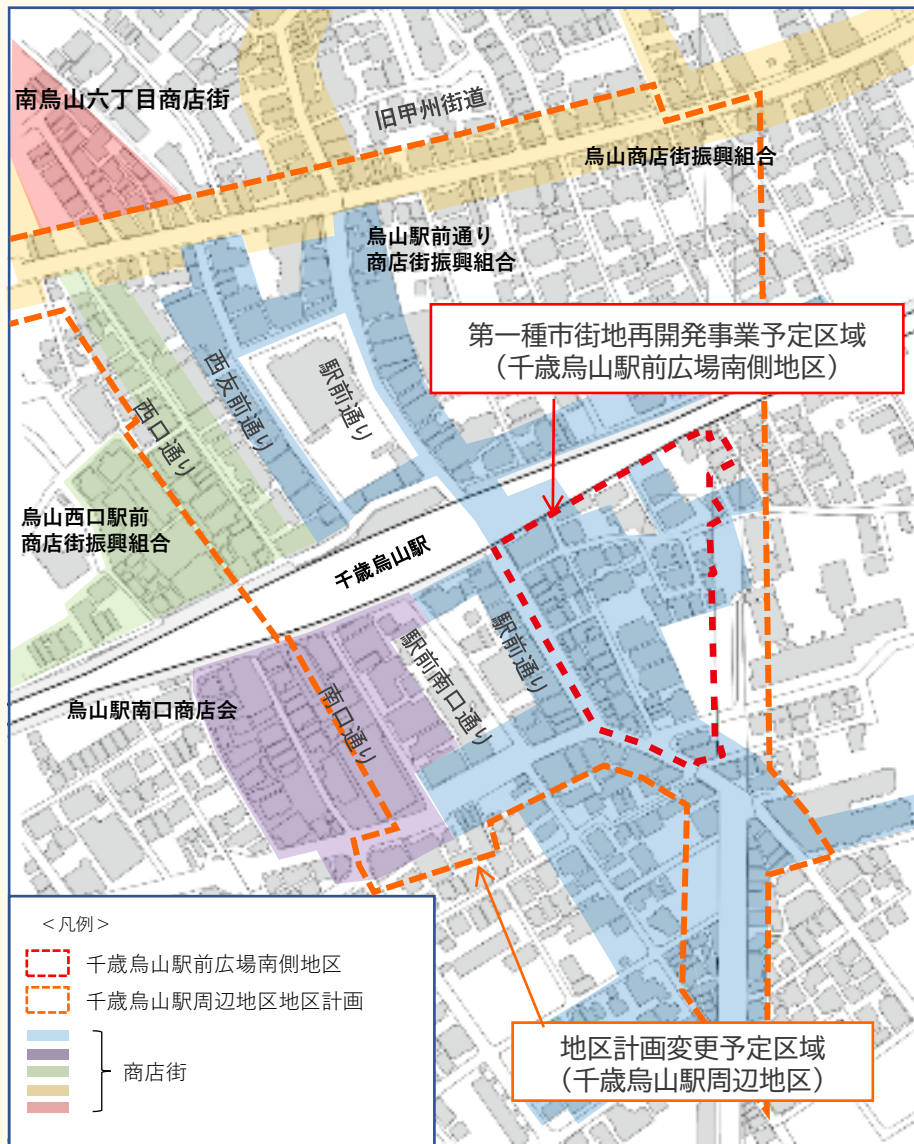
など

# 「千歳烏山らしさ・街の魅力が失われることへの懸念」に対する 区の見解

---

# 「千歳烏山らしさ・街の魅力が失われることへの懸念」に対する区の見解

## ■ 千歳烏山駅周辺（現在の街並み）



# 「千歳烏山らしさ・街の魅力が失われることへの懸念」に対する区の見解

## ■ 千歳烏山駅周辺地区街づくり構想(平成26(2014)年5月)

### 求められる街づくり

- 都市計画施設を活かした街づくりの推進
- 通過車両を排除した、人が主役の街の実現
- 回遊性の高い、歩いて楽しい街の実現
- 街(空間)の魅力と競争力のある商店街の実現
- 歩行者と自転車が安全に共存できる街の実現

基本  
目標

### 主要な地域生活拠点 として更なる発展

#### 実現のための3つの目標

##### 1 我が街の商店街を目指す

主要な地域生活拠点としてこれまで以上に地域住民に支持され、共に歩む商店街づくりを目指します。

- 安全、安心、快適、便利なホッとさせる商店街
- 現在の信頼を大切に地域住民にさらに支持される商店街
- 様々な世代が通りを行きかい笑顔に出会える街
- 魅力的なお店や商品のある友達に自慢したくなる街

##### 2 歩きやすい街づくり

回遊しやすく、安全に行ける、気軽に行ける、行きたくなる街を目指します。

- 街の中を回遊しやすく、横(東西)にも行きやすい工夫がある街
- 行きたいお店の前に自転車が停められ、放置自転車の無い街
- 建物の建替え時にエレベーターを設置し、上下に行きやすい街
- ママにも優しくベビーカーで安心して快適に回遊できる街
- 通過交通を排除した歩行者優先の街

##### 3 ゆったり時間を過ごせる街づくり

人々が寛い交流できる機会や施設、空間が充実する街を目指します。

- 現況で街に無い共用空間や床面積を確保した商業施設を生み出し活用できる街
- 地域コミュニティやサークル活動に気軽に参加できる機会が多い街
- 入りやすく、時間を使いたくなるお店が多い街
- ベンチや休憩スペースが通りに適度に設けられている街

#### Ⅶ. 西友前通り

##### 楽しく歩ける交流空間づくり

- 壁面セットバックによる整った街並みとゆったり空間の演出
- 東西通路による回遊性、歩く自由度
- 店舗敷地に自転車を止められる店づくり
- 区民センター・広場との連携



壁面をセットバックした商店街のイメージ(横浜元町)

#### Ⅵ. 西口通り・南口通り

##### 楽しく歩け憩える通りづくり

- 壁面セットバックによる整った街並みとゆったり空間の演出
- 東西通路による回遊性、歩く自由度
- 店舗敷地に自転車を止められる店づくり
- 敷地の共同化によるエレベーターの設置など、ユニバーサルデザインの施設づくり



壁面をセットバックした商店街のイメージ(横浜元町)

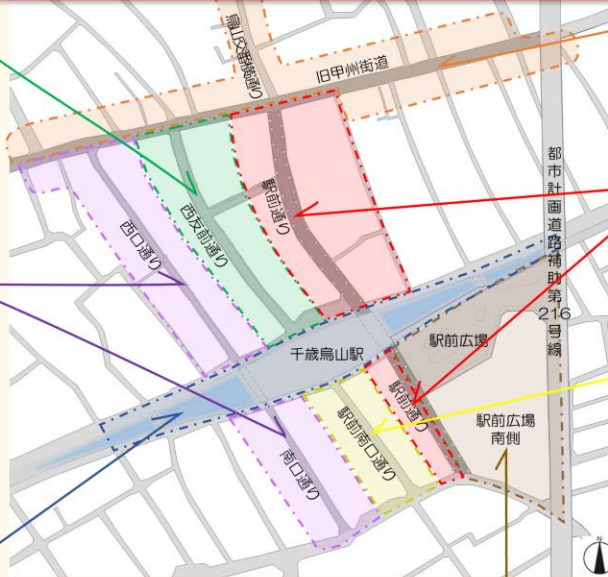
#### Ⅴ. 京王線高架下

##### 高架下の地域貢献の促進

- 駅周辺商業との連携
- 鉄道高架下利用の要望整理



高架下利用のイメージ(駐輪場の事例:大田区桜谷)



#### Ⅰ. 旧甲州街道・烏山交番横通り

##### 安全に歩ける道づくり

- 安心して歩ける安全な環境整備
- 寺町への玄関口としての機能



幅員12m道路の整備イメージ(補68:新宿区牛込中央通り)

#### Ⅱ. 駅前通り

##### 安心して歩ける道路環境づくり

- 通過交通の抑制
- 自転車駐輪の適正化
- 時間を過ごせるスペースの工夫



道路空間の活用イメージ(新宿モア四番街)

#### Ⅳ. 駅前南口通り

##### 駅前に相応しい商業・業務機能の集積

- 商業地としての土地利用の促進
- 壁面セットバックによる整った街並みとゆったり空間の演出
- 東西通路の整備
- 南口の駐輪場の街づくりへの転換



店舗での暫定利用のイメージ(代々木VILLAGE)

#### Ⅲ. 駅前広場南側

##### 駅前広場に相応しい新しい拠点整備

- 防災力の強化
- 南側の新たな商業拠点としての活性化
- 街区の再編(土地利用の促進、共同化・再開発の検討)



千歳烏山駅前広場のイメージ

連続立体交差事業は、鉄道沿線の街づくり事業と一体的に進めることにより、総合的な都市基盤整備に貢献します。「東京都連続立体交差事業ポータルサイト」より



整備前



整備後

JR中央線 武蔵小金井駅付近

# 「千歳烏山らしさ・街の魅力が失われることへの懸念」に対する区の見解

## ■ 千歳烏山駅周辺地区地区計画(令和3(2021)年6月)

### 地区計画の目標

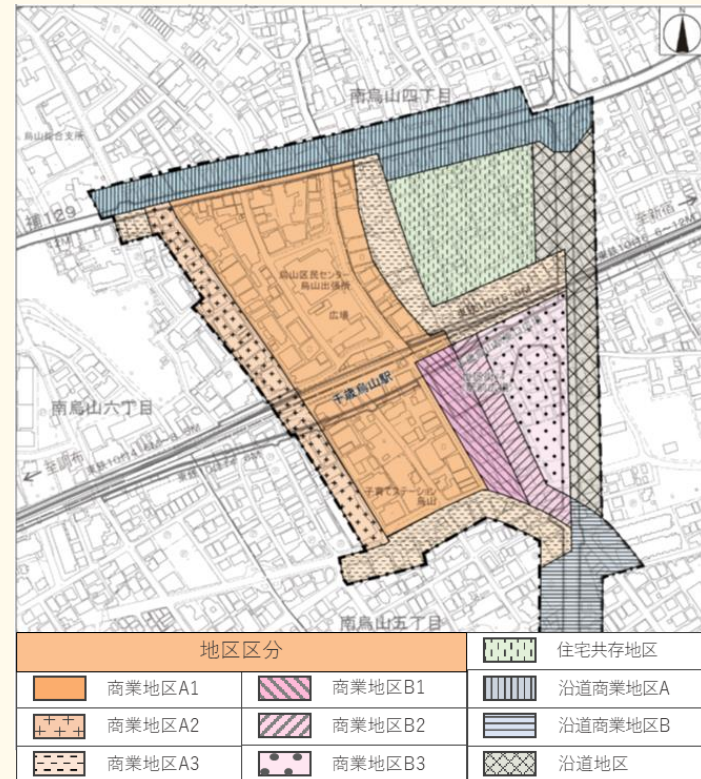
合理的な土地利用、安全で快適な歩行者空間の確保及び防災性の向上などを誘導することで、住環境に配慮しながら回遊性のある魅力的な駅前商業空間の維持・増進を図り、「駅南北の交流と人々が集う魅力あふれるまち」の形成を目指す



千歳烏山駅周辺地区 地区計画

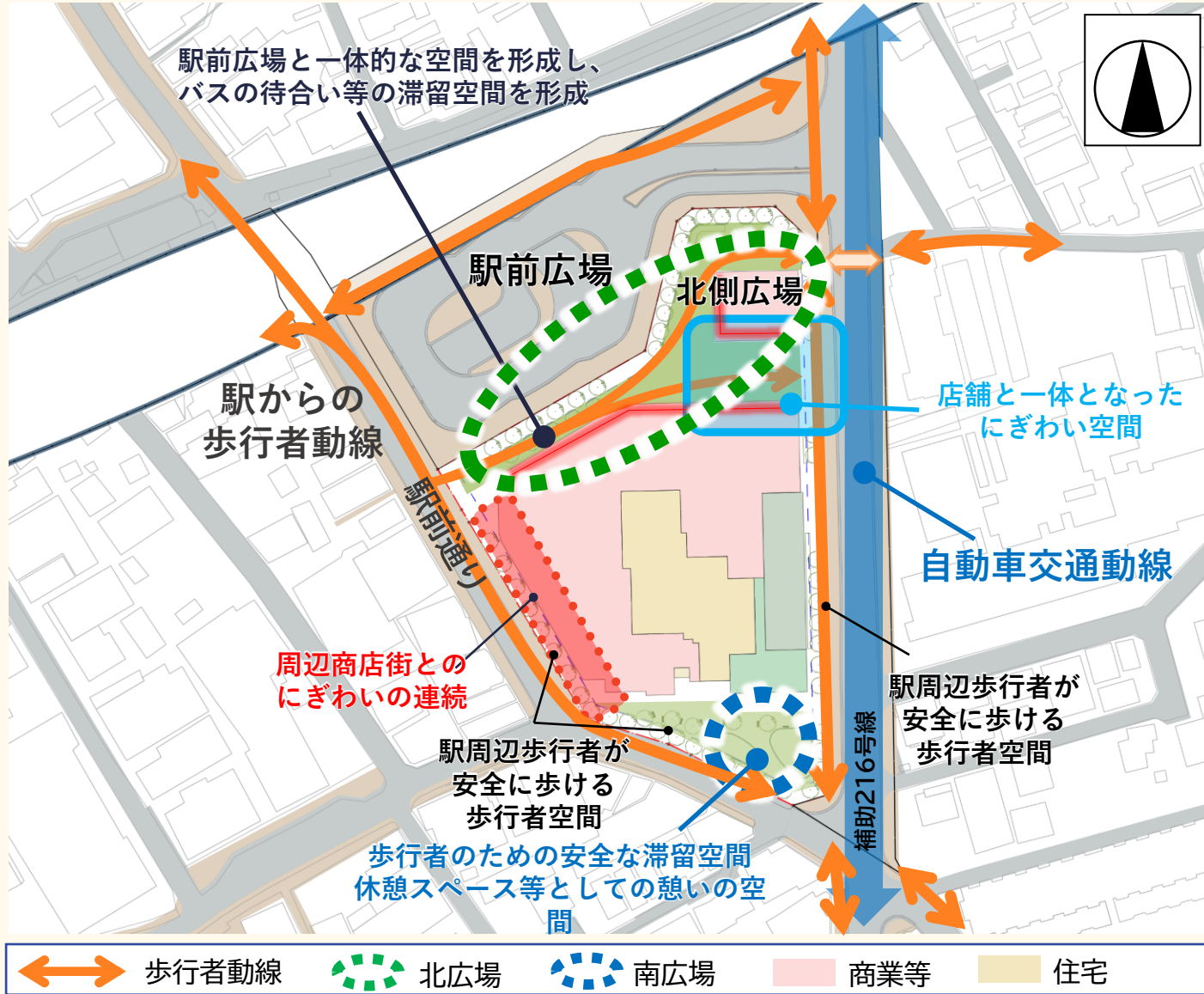
世田谷区 烏山総合支所 駅周辺整備担当課

都市計画決定:令和3年6月18日 世田谷区告示第522号



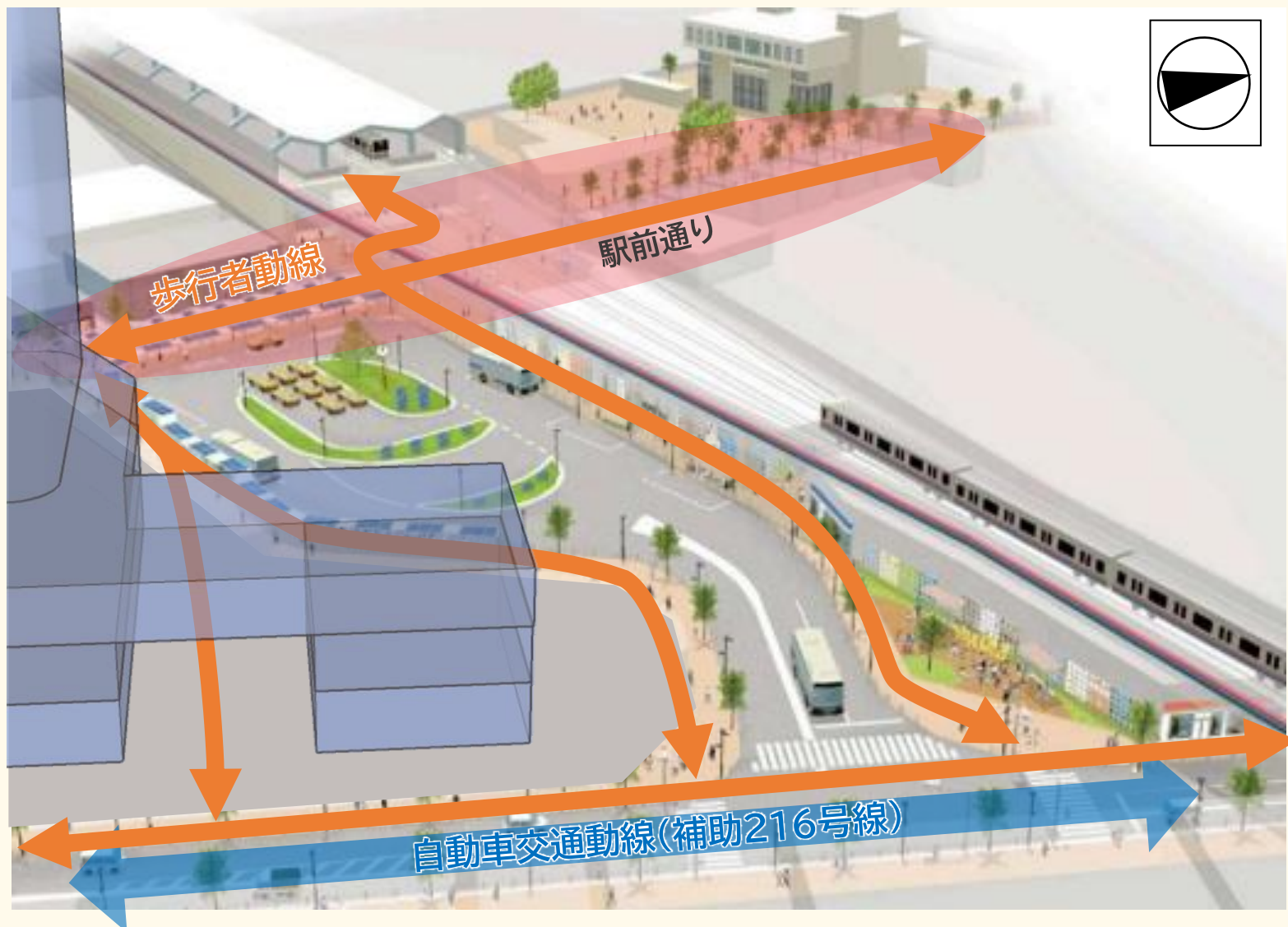
# 「千歳烏山らしさ・街の魅力が失われることへの懸念」に対する区の見解

## ■ 想定される街づくりの効果(公共貢献)



# 「千歳烏山らしさ・街の魅力が失われることへの懸念」に対する区の見解

## ■ 想定される街づくりの効果(動線の考え方)



補助216号線側からのイメージパース

# 「千歳烏山らしさ・街の魅力が失われることへの懸念」に対する区の見解

## ■ 壁面後退による効果



### 「駅前通り側」: **安全な歩行者空間** + **にぎわい空間**

- ・歩道と一体となった歩行者空間
- ・テラス席等の店舗利用が可能な空間
- ・街に開けた商業施設を計画



### 「補助216号線側」: **安全な歩行者空間**

- ・歩行者空間と緑地帯
- ・歩行者が安全かつ快適に回遊できる空間
- ・潤いを感じることができる歩行者環境

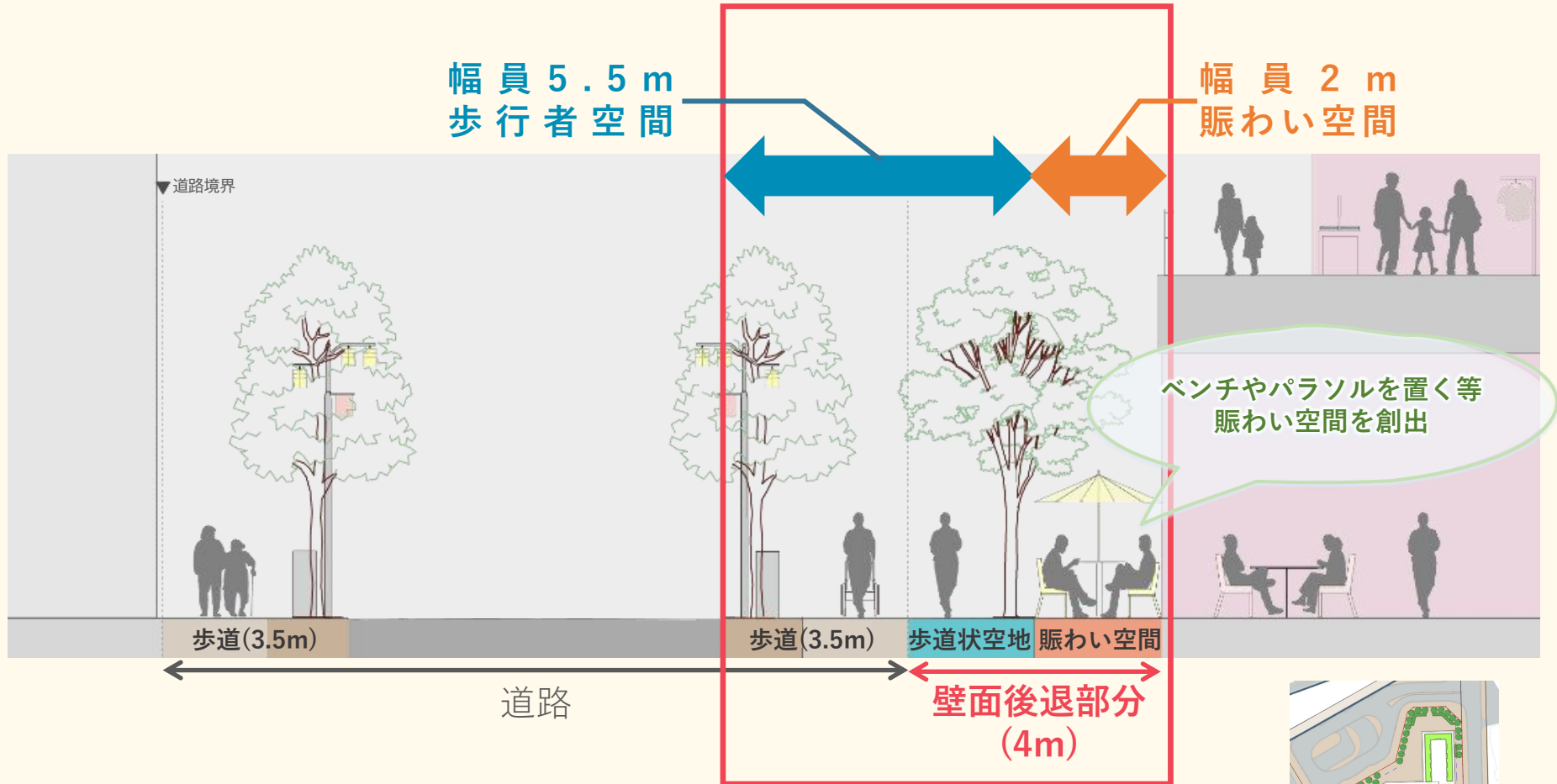


### 「バス通り側」: **安全な歩行者空間**

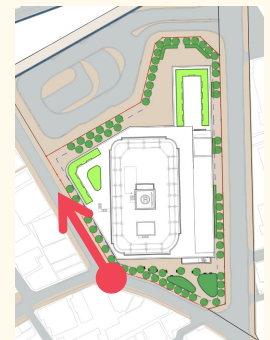
- ・安全で安心して歩ける歩行者空間を形成

# 「千歳烏山らしさ・街の魅力が失われることへの懸念」に対する区の見解

## ■ 壁面後退による効果



駅前通りの整備イメージ



# 「千歳烏山らしさ・街の魅力が失われることへの懸念」に対する区の見解

## ■ 広場による効果

### ◆ 区民センター広場と連携したイベント開催



季節のイベントやマルシェ等、  
北広場と連携し街全体のイベント開催

### ◆ 北側広場活用による駅周辺全体の賑わいの

地域イベントのサテライト会場や  
小規模イベントの会場として活用



にぎわいをつなぐ  
南北が連携して地域一体で賑わいを形成

烏山区民センター

補助第216号

大規模なイベント

烏山区民センター広場

烏山区民センター広場

中小規模なイベント

北広場

南烏山五丁目  
さくら公園

### ◆ 回遊性の高い歩行者空間の整



バスや車とすれ違うことなく  
安全に歩ける空間

千歳烏山駅

駅前通り

北側広場

### ◆ 駅周辺 滞留空間の整備

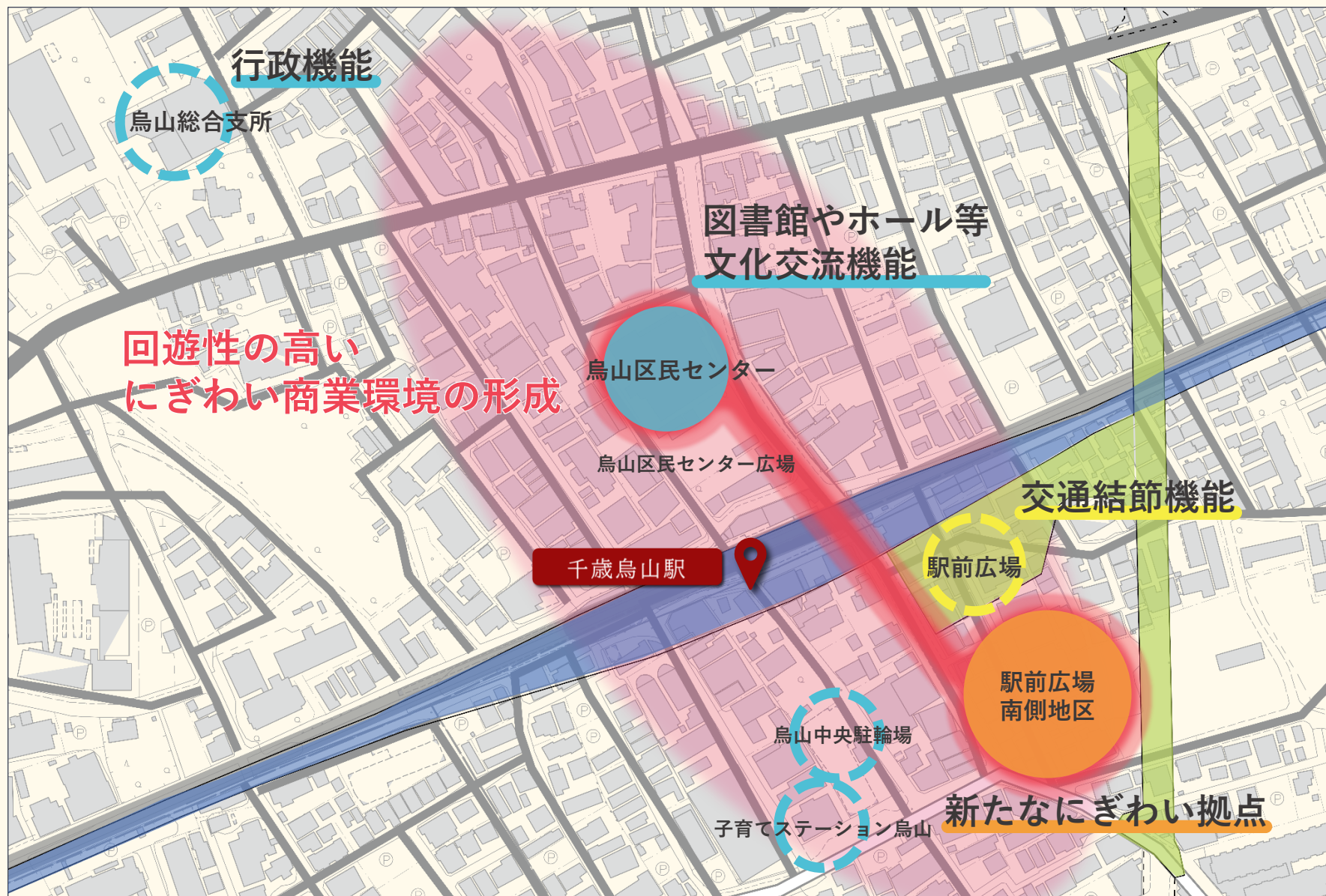


みどりが溢れた空間で  
ちょっと休憩

※検討中のものであり、今後変更する可能性があります。

# 「千歳烏山らしさ・街の魅力が失われることへの懸念」に対する区の見解

## ■ 駅周辺全体のまちづくりへの効果



## **B 地区計画区域外にお住まいの方からの意見要旨**

---

# 高層マンション(約140m)の必要性・妥当性

別紙【意見書の要旨】  
P.52～P.55

## ○ 計画の見直しについて(※抜粋)

- ・ 千歳烏山駅周辺は、道が狭く店が密集しており、開発によって緊急車両が通行しやすくなり、災害時に避難しやすくなることなど、防災や道路整備の必要性、開かずの踏切の解消などは理解できるが、その手段としてこれほどの高さと規模の高層マンションを建てる必要性は全く理解できず反対である。その駅、その街ごとの色をしっかりと見て判断すべきである。
- ・ 高層マンション計画に反対する。三鷹市や神戸市のように、世田谷区も地権者が再検討できるように見習って欲しい。
- ・ 高さ140mの根拠の説明もなく、本計画の高層マンションには反対である。千歳烏山の景観や街の規模に合った建物が良い。商業施設兼住居や、低層・分散型の配置、緑豊かな公共空間を確保するなど、より現実的で街に調和した代替案を検討すべきである。本計画の進め方は「誰も置き去りにしない街づくり」を進めている区のお考え方に逆行しており、反対意見が多い状況で計画を強制的に進めることに反対である。など

# 景観・安全性・周辺環境への影響に関する不安

## ○ 景観・周辺環境について(※抜粋)

別紙【意見書の要旨】  
P.43～P.48

- ・ 計画中の高層マンションにより、**周囲の戸建てや低層住宅が長時間日影**となり、**街並み・生活環境・財産価値・眺望等**に深刻な影響が出る。日影の影響を受ける駅の北側地区の住民へ説明はしているのか、日影の影響を受ける住民に説明すべきではないか。また、日照権も深刻な問題であり、地域住民を犠牲にする計画は止めて欲しい。
- ・ **日影やビル風の影響**により、周辺住民の安全性、快適性が損なわれ、住環境や歩行環境の悪化が懸念されるため、納得のいくシミュレーション結果と対策も示されているとも言い難く、高層マンションに反対する。千歳烏山は低層住宅を中心とした落ち着いた街並みと、住環境の良さが評価されているが、歴史を無視した高層建築は、千歳烏山に住む人、集う人たちを失望させ、不愉快にもさせる。
- ・ 高層マンション周辺では**ビル風が強くなり**、周囲を歩くのが困難になる、土が舞い上がり農作物が作れない等、様々な弊害が予想されるため、低層階のマンションへの計画を見直してもらいたい。
- ・ 再開発事業は、今後何十年にわたる重要な計画であり、**将来世代にとって誇れる風景**を残せるよう、画一的な駅前再開発ではなく、地域の個性を一層磨くような先進的な事例となることを期待する。  
など

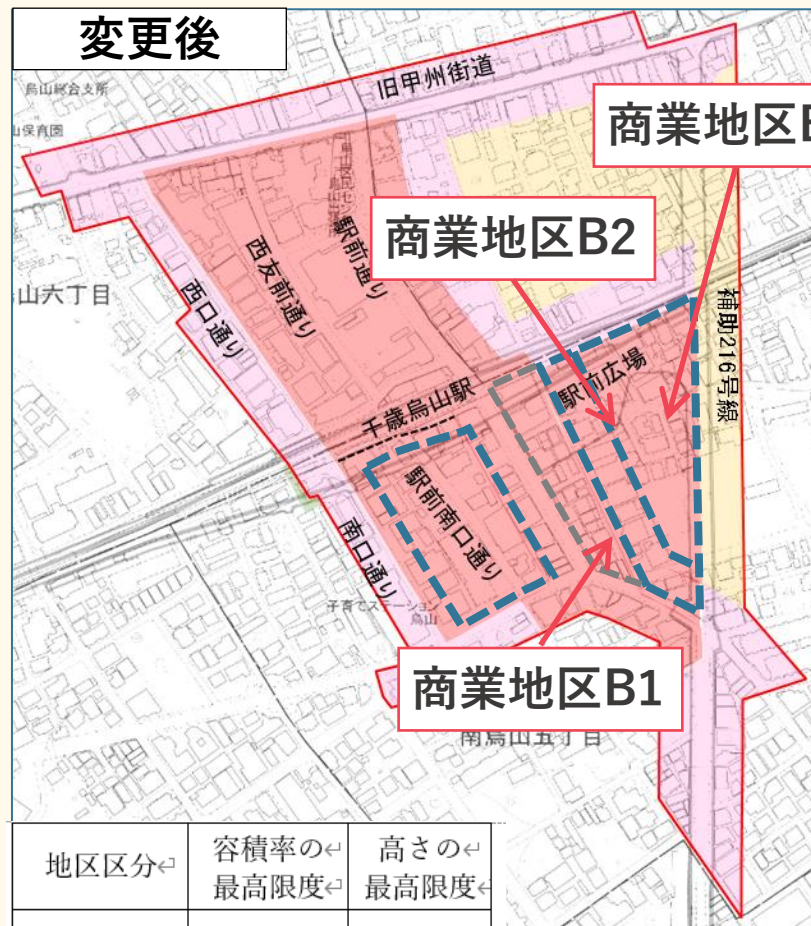
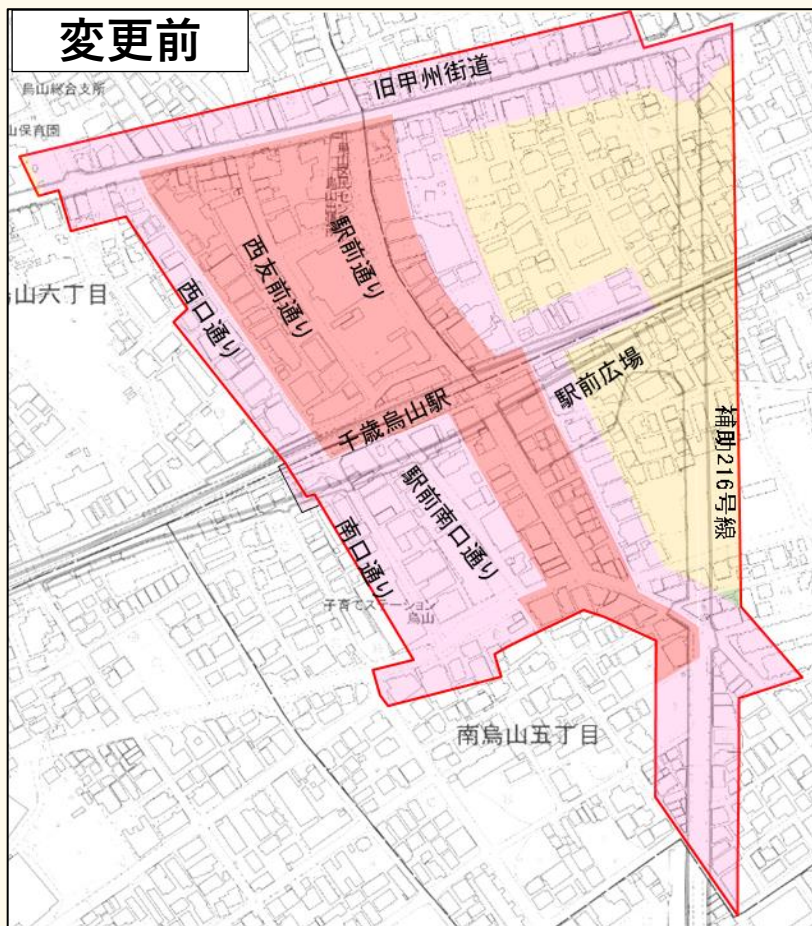
「高層マンション(約140m)の必要性・妥当性」  
「景観・安全性・周辺環境への影響に関する不安」  
に対する区の見解

---

「高層マンション(約140m)の必要性・妥当性」  
 「景観・安全性・周辺環境への影響に関する不安」

# に対する区の見解

## ■ 建物規模に関する説明 (令和3(2021)年 用途地域の変更の考え方)



- 凡例
- 千歳烏山駅周辺地区地区計画の範囲
  - 用途地域変更範囲
  - 第1種中高層住居専用地域
  - 第1種住居地域
  - 近隣商業地域
  - 商業地域

地区区分	容積率の 最高限度	高さの 最高限度
商業地区 B1	500%	—
商業地区 B2	500% (300%※)	—
商業地区 B3	500% (200%※)	— (45m※)

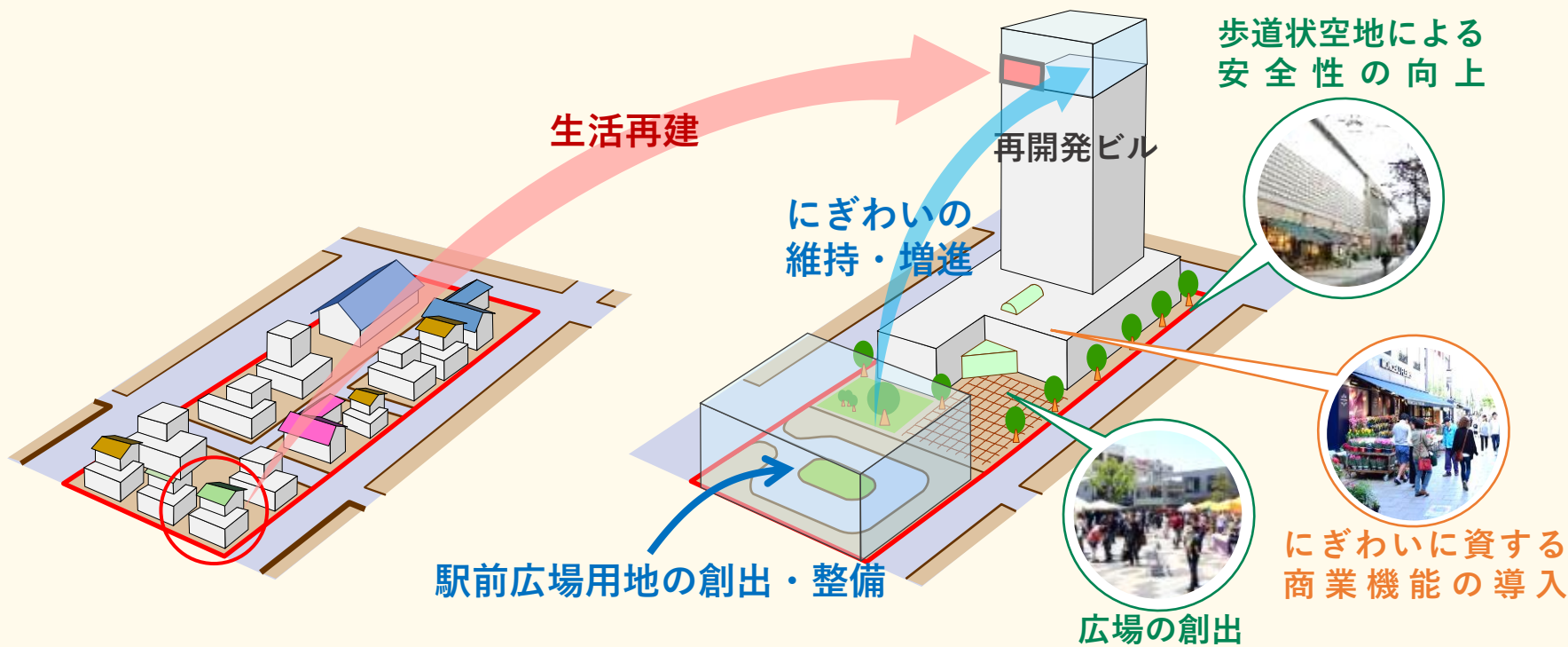
※敷地面積 2,000 m<sup>2</sup>未満の場合

「高層マンション(約140m)の必要性・妥当性」  
 「景観・安全性・周辺環境への影響に関する不安」**に対する区の見解**

■ **建物規模に関する説明** (高度利用地区による容積率の緩和の考え方)

【従前】

【従後】



**容積率緩和のための要件**

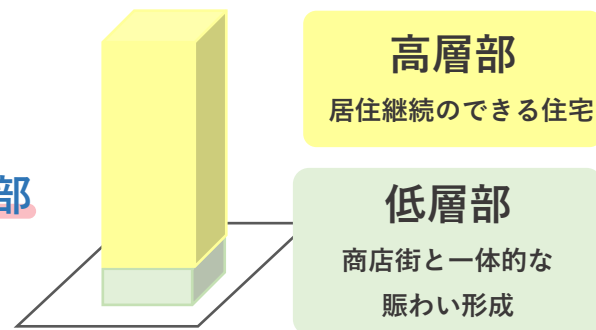
緩和 (割増し) 容積率	緩和 (割増し) するための要件		
	建ぺい率減	壁面後退	広場
200%	-30%	4m	20%

# 「高層マンション(約140m)の必要性・妥当性」 「景観・安全性・周辺環境への影響に関する不安」に対する区の見解

## ■ 建物形状の検討プロセス

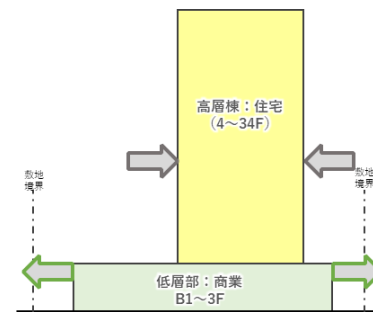
### 用途の検討

商業施設としての回遊性や利便性を踏まえた検討  
⇒周辺の街並みとの調和を図るための3階程度の低層部



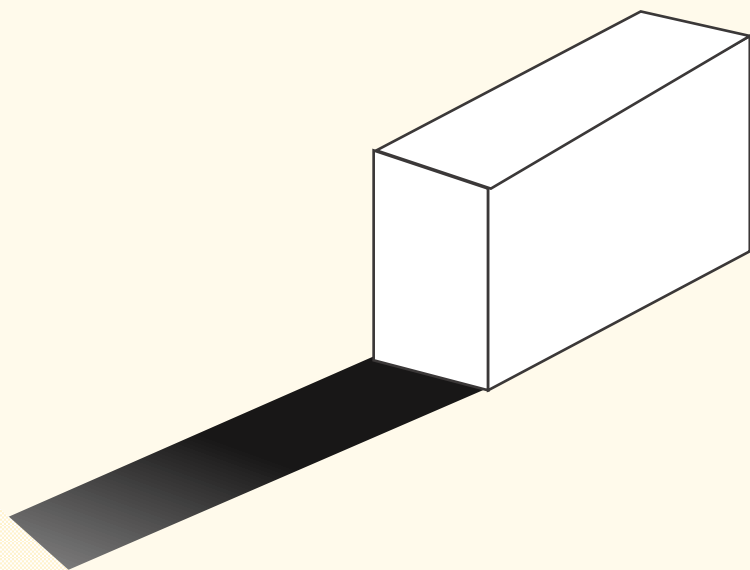
### 形状の検討

容積率700%を前提として、景観や日影、風環境など  
周辺環境への影響に対して最大限に配慮した建物形状  
⇒日影、圧迫感、風害の低減等  
⇒必要な採光等の居住環境の考慮



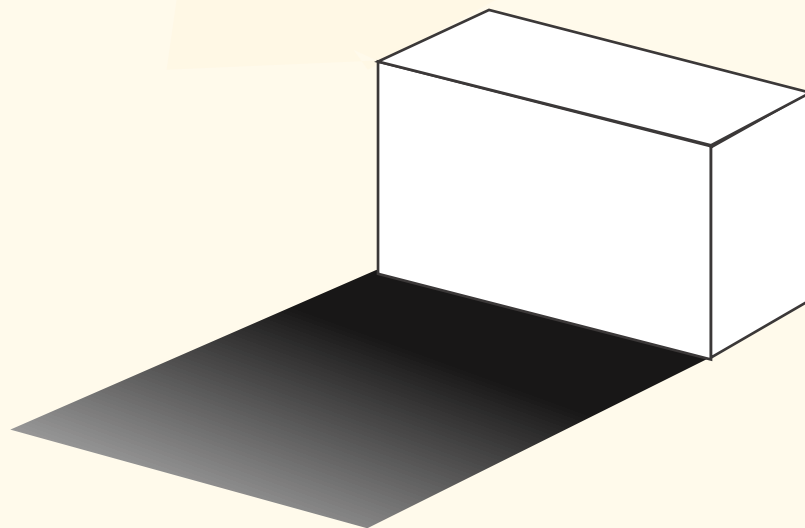
## ■ 日影

建物が南北に幅がある場合



- ・ 影の範囲が狭い
- ・ 日影になる時間が短い

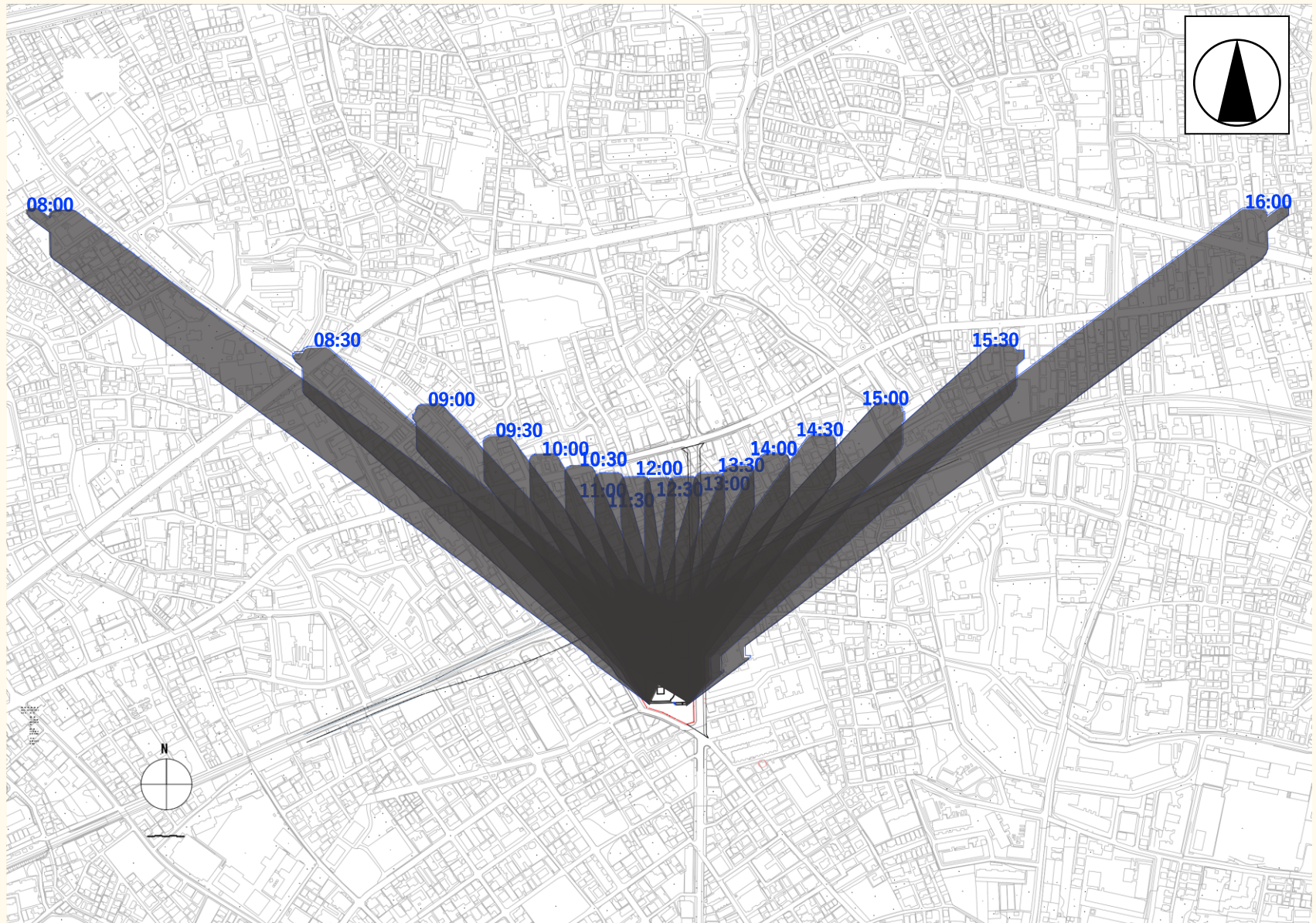
建物が東西に幅がある場合



- ・ 影の範囲が広い
- ・ 日影になる時間が長い

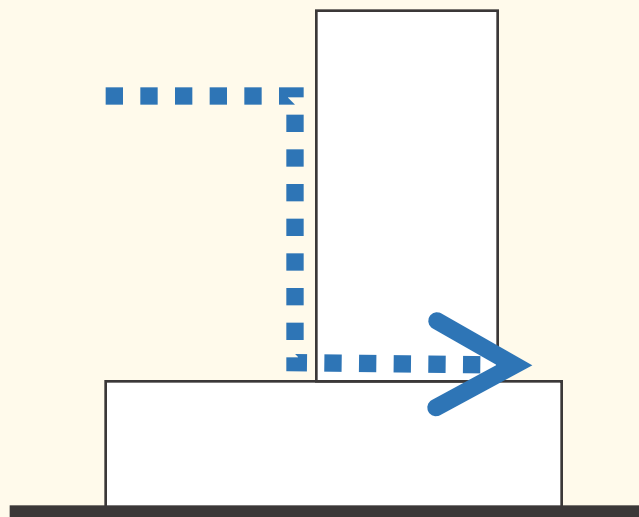
# 「高層マンション(約140m)の必要性・妥当性」 「景観・安全性・周辺環境への影響に関する不安」に対する区の見解

## ■ 日影



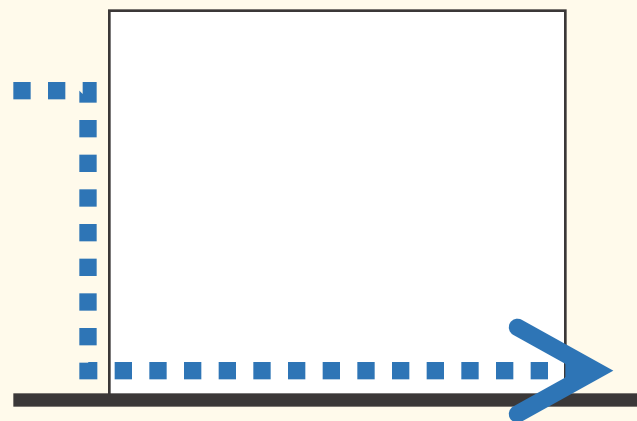
■ 風

低層部がある場合



低層部の屋上に風が流れる

低層部が無い場合

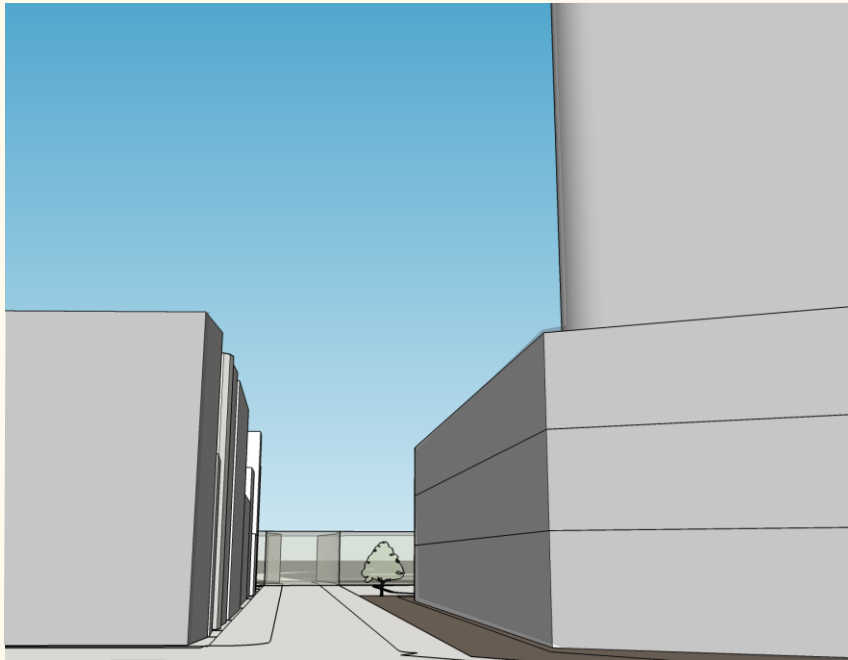


地上まで風が下りてくる

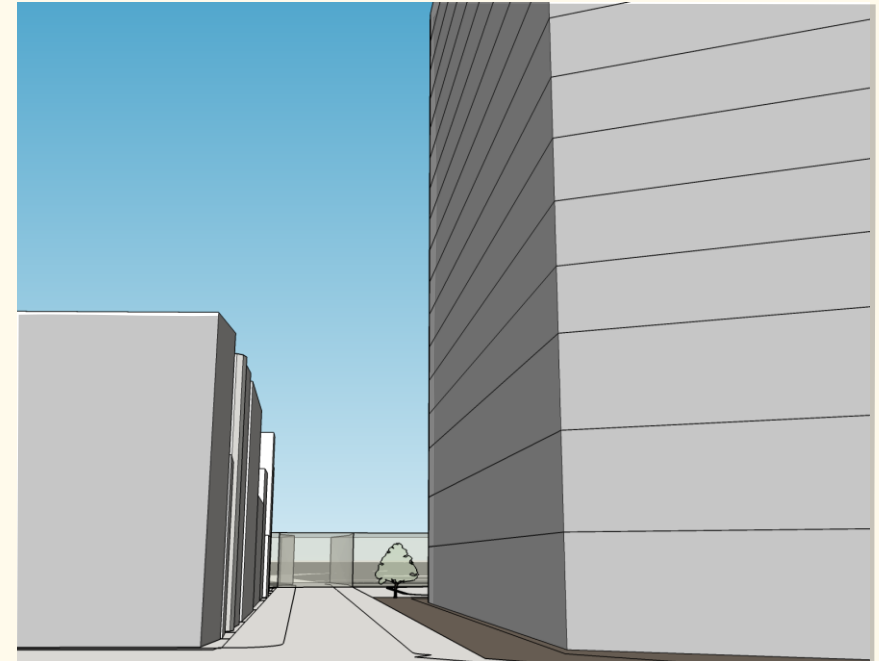
「高層マンション(約140m)の必要性・妥当性」  
「景観・安全性・周辺環境への影響に関する不安」に対する区の見解

■ 圧迫感と景観

高層部をセットバックする場合



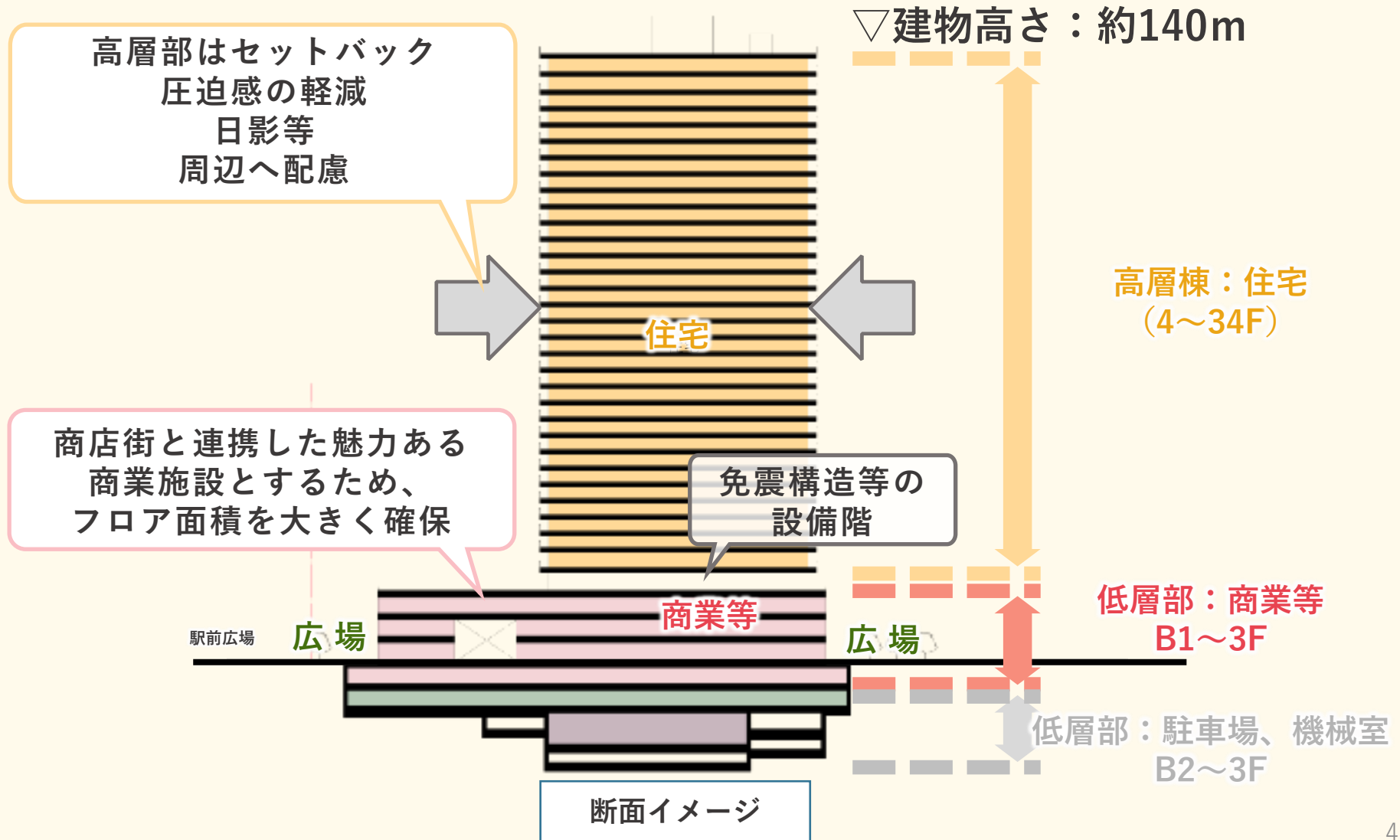
低層部がそのまま高くなる場合



圧迫感の軽減  
景観としての連続性

# 「高層マンション(約140m)の必要性・妥当性」 「景観・安全性・周辺環境への影響に関する不安」に対する区の見解

## ■ 建物形状の検討プロセスのまとめ



---

## **(4) 地区計画(原案)からの変更点**

---

### 建築物等の整備の方針

#### 変更前

11 商業地区Bに整備する建築物等においては、商店街との連続性や周辺の街並みとの調和を図るため、商業施設配置や低層部のデザイン並びに敷地内の緑化整備などの工夫により、周辺の市街地環境への**配慮に努める。**



#### 変更後

11 商業地区Bに整備する建築物等においては、商店街との連続性や周辺の街並みとの調和を図るため、商業施設配置や低層部のデザイン並びに敷地内の緑化整備などの工夫により、周辺の市街地環境へ**配慮する。**

- ※「第一種市街地再開発事業(千歳烏山駅前広場南側地区)」及び「高度利用地区(千歳烏山駅前広場南側地区)」の案については、前回の都市計画審議会での報告から変更はありません
- ※都市計画法第16条の手続きは賛成反対を問うものではございませんが、今後の街づくりに対する様々なご意見やご不安があることを十分認識しながら今後の検討を進めていきたいと考えています。

---

## (5) 今後のスケジュールについて

---

## ■今後のスケジュール

- 令和8年 6月 都市計画法第17条による第一種市街地  
再開発事業、高度利用地区、地区計画（案）  
の公告・縦覧
- 8月 都市計画審議会（諮問）
- 9月 第一種市街地再開発事業の決定・告示  
高度利用地区の変更・告示  
地区計画の変更・告示